



# オオバン

*Fulica atra*

No.97

2017年7・8月

我孫子市鳥の博物館友の会

<http://acmbs.sakura.ne.jp/hp/>

[ooban-abiko@hotmail.co.jp](mailto:ooban-abiko@hotmail.co.jp)

どんなエッセイが飛び出すでしょう  
なんでも“アリ”の第5弾 お楽しみに！  
～リレーエッセイ 第31回～

## 博物館での1年を振り返る

美濃亜里彩

我孫子市鳥の博物館に着任して早くも1年が経ちました。館内でまだまだ勉強が足りないところもありますが、初めに比べれば少しは業務に慣れてきたのではないかと思います。ここでは、私が博物館に就職してから1年間の業務を通して知ったことや、感じたことなどをお話したいと思います。

### ○博物館での業務

その前に、まずは館内の業務内容について少しお話しします。「学芸員は雑芸員」という表現をされるほど、業務内容は多岐に渡ります。学芸員の業務は主に調査・研究、展示、教育普及、資料の保存や収集、管理などです。これに加えて広報誌などへの情報提供やホームページの編集なども行っています。「学芸員って何の仕事をしているの？」と聞かれることがありますが、上にあるような内容を簡単に説明するのは難しいので、いつも初めに一言、「いろいろやっています」と答えてしまいます。

業務内容は施設の特徴やコンセプトによって異なります。例えば、当館では生きた鳥は展示していませんが、生きものの生体展示をしている博物館もあります。そのような施設では、展示動物の健康管理も大切な業務の一つとなります。また、当館は鳥だけを扱っているテーマを絞った博物館で、このような博物館は

「単科博物館」と呼ばれます。それに対して動植物などの生物全般、地質学や天文学など、複数の分野を合わせて展示している博物館は「総合博物館」と呼ばれ、やはり展示資料や展示解説、観察会などのイベント案内の方法も変わってきます。

### ○野外調査を通して

手賀沼を半周し、見られた鳥の個体数や行動を記録する手賀沼水面センサス調査を毎月実施しています。沼の周辺をぐるりと周回しながら鳥を観察することで、手賀沼やその周辺の環境、そこで見られる鳥の生息状況を自分の目で見て把握することができます。2階展示室のジオラマでしか見ていなかった季節ごとの風景を1年を通して知ることができましたし、そこで得られた「どこにどのような鳥が見られたか」という情報は、館内や観察会での解説、質問対応などを行う上ではやはり知っておくべきことだと感じました。

余談ですが、望遠レンズを新調し、ズーム機能が向上したことで、調査や観察会で見られた鳥の写真をより鮮明に記録できるようになりました。カメラが重いのは難点ですが、写真として記録を残すことで、そのときは気付かなかったことも後で確認できるのは本当に便利ですね。まだまだ使いこなせていない初心者ですが、こちらも徐々に鍛えていきたいところです。



(手賀沼調査時に撮影したカワウ)

### ○観察会を通して

てがたんなどの観察会をきっかけに、これまでじっくり見ることの無かった植物や昆虫などの生き物をよく観察するようになりました。同じコースでも、見る季節やその時のテーマによって見え方が変わるので、様々な発見があります。今では自宅の周辺で見られた植物や昆虫も観察するようになりました。自宅付近のカゴにとまっていたセスジスズメの成虫を見つけたとき

には、「このカッコいいフォルムのガはなんだ!？」と感動し、すぐに種名を調べました。セスジズメは全国的に広く分布している種類ですが、このときまでは幼虫しか見たことがなかったのです。また違う日にはウンモンズメの成虫も発見し、チョウとはまた違った魅力があることに気付きました。手賀沼周辺の生きものについても、より深く知りたいと思います。



(セスジズメの成虫)

#### ○館内の業務(長期休館中)

鳥の博物館は昨年 11 月 6 日からおよそ 3 か月間、館内の空調設備の工事のためにお休みを頂いていましたが、職員は休館中の間も館内で勤務していました。工事は館内の全体で行われ、収蔵庫の中の空調も更新されるということで、収蔵庫の資料を 3 階世界の鳥コーナーへ移動しなくてはなりません。標本やジオラマを載せた数台の台車を、エレベーターを使って往復させて移動をしました。これまで棚に並べられている状態でしか見たことがなかった標本が一堂に集められているのを見て、館内の標本数の多さに驚きました。また、これだけ多くの標本を大切に管理することは大変なことではあるけれども、良い状態のまま長く利用するためにも、標本を扱う誰もが共通した意識を持つことが重要であると感じました。

このように日々の業務を通して様々なことを学んでいるうちに、あっという間に次の年度が始まりました。今後も引き続き、いろいろなことに目を向けていきたいと思います。

#### 次回は倉重力也さんに バトンタッチです



## 印西市発作地区の水田探鳥会に 参加して 植田啓介

6年前になりますが 5 月に発作地区の探鳥会に参加したことがあります。このとき車に便乗させていただき数カ所の水田を回ったのですが、どこをどう回ったのか記憶になく、思い出すのはムナグロを初めて見たこと、チュウシャクシギもいたことくらいでした。



今回は春の渡りの鳥たちをもういちど見てみたいと思い参加させていただきました。

ふれあい道路を走り井上家住宅付近から水田地帯に入るとすぐにムナグロ他に遭遇、あと浅間橋を渡り亀成、発作地区の水田地帯の農道を走り、数カ所でムナグロ、チュウシャクシギ、キョウジョシギ、ハマシギ等じっくり観察することができました。ムナグロの群れでは夏羽になったものもいれば冬羽から夏羽に移行中のものもあり、しっかり準備をして旅立ち秋には元気に帰ってこいよと心の中でエールを送った次第でした。



自然の中で生きている鳥を見ることはそれだけでも楽しい。いい探鳥会でした。広い水田地帯で探鳥コースを調査、設定された幹事さん、車で案内いただいたメンバーの方々、ありがとうございました。

(実施日 5 月 7 日)

## 利根運河の桜と草花

### 一言コメント

**新保國弘** 歩こう会に初めて参加しました。たくさんの方と一緒に陽春の利根運河と理窓公園を柳沢さんの名案内で散歩でき、楽しい半日を過ごせました。

**原田高子** 晴天の下、運河の川原を雑木林の道を草花を見ながらテクテク歩きました。桜はもう少し、水辺はカルガモ、ダイサギ、コサギがのんびり泳ぎ、土手では日光浴中のヒドリガモを沢山見ました。草の名も教えていただき、はっきり知りました。良い半日でした。桜を見に後日きます。

**矢野達志** 爽やかな晴天の下可憐に咲く花々を鑑賞することができました。

**松田幸保** 桜はまだだったが、早春の花とウグイスの声を楽しめました。



**小野光** 天気がよく素晴らしい散策になりました。桜は少し早かったけれど、利根運河が菜の花に彩られて、とても気持ちが良かったです。今日で花の名前が少しでも覚えることができたらいいなと思います。

**佐藤早苗** 穏やかな一日、利根運河を散策しました。古墳発見当時の話、アマナ、コブシとハクモクレンの違い、トウダイグサ、キジムシロの野草を教えていただきました。楽しい一日でした。幹事さん、有難うございました。

**小池勉** 昨年の利根運河歩こう会から、野草の写真のコレクションを始めました。現在約130種類集まりました。今回参加して5種類増えました。

**池本加代子** お天気に恵まれ、楽しく歩くことができました。ありがとうございました。

**小林光江** 春爛漫…絶好のお花見日和に心は踊り、山野草の健気な美しさに元気をもらいました。古墳周辺には手付かずの雑木林が残るかさこそと落ち葉を

ふみわけての散策。消えゆく里山の名残を堪能しました。もっともっと自然界に目を向け、日本の風景を大切に願っています。担当の方々そして皆さんに感謝致します。

**高波宣子** 麗らかな春の一日、ちょうど良い散策コースでした。みなさんと一緒に楽しく歩けました。ありがとうございました。

**真保一枝** (会員外) 初めて参加させていただき歩く会も初体験でしたが、知らない知識を沢山教えていただき勉強になりました。楽しく参加させていただき、機会があったらまた伺いたいです。

## 三番瀬撮影会感想文

浅野利幸



冬鳥から夏鳥へと変わる時期でオオソリハシシギ等期待していましたが残念ながらまだ渡って来ていませんでした。

集合時間より早目の8時ころ到着この日の満潮でハマシギ、ダイゼンなどがネットの上で休憩中であつた。



市川方面の堤防では黒く夏羽に変身したハジロカイツブリの群れ、また反対側の船橋方面の堤防ではミヤコドリ、ハマシギ等が休んでいた。

11 時前、潮が引いてくると次々と干潟に降りて採餌が始まった。

三番瀬ならではの多くのミヤコドリが貝を採る姿、飛び交う姿、ハマシギの採餌する姿等が人気があった。  
(実施日 4 月 2 日)

## 第221回 日立市かみね動物園 一言コメント



**金子幸子** 今日予備日の為か、人数が少ない記録、4人で実施。2時間余りの車窓は桜の並木や、田畑の中に1本、ぽつんと立派な桜があったり、これを見ただけでも来たかいたがありました。動物園は家族づれが多く、小さい園内も、めずらしいアオバネワライカワセミや、ノスリを目の前でじっくり見られたのは良かったです。帰りには神峰神社のしだれ桜にみおくられて帰途につきました。

**桑嶋光子** 日立駅はガラス張りで太平洋が眺められ、動物園迄のバスからは、桜並木が眺められ、とてもいい一日でした。園ではアオバネワライカワセミの濃淡のブルーがきれいで、声が聞けないのが残念。チリーフラミンゴは赤とうすいピンクがとても鮮やかでくちばしの先の黒と羽うらの黒が和服を連想させ、印象に残りました。

## 三宅島撮影会

小山雄司

数年前、八丈島へ教師として赴任していた甥から「アカコッコ」は、内地の庭先にいる雀のように居ると聞かされ、お見合いの機会を待ち続けやっと実現の運びとなりました。4月27日夜、浜松町駅集合班と竹芝棧橋班6名が合流し乗船、航海中トラブルもなく翌朝定刻通り接岸後手配済みのレンタカー2台に分散

乗車。1班ドライバーの丸嶋さん他2名、2班ドライバー久野さん他2名の構成で最終日迄、移動を担当して頂き有難うございました。28日早朝、伊豆岬へ直行し下調べがてら探鳥、東屋風の中で朝食の腹ごしらえをして富賀浜～アカコッコ館へ向かいました。



到着後間もなく、久野さんからアカコッコが居ると教えられ一斉に行動開始、嘴で落葉をかき分け餌探しの姿をシャッターチャンス到来、念願通りに思わず一人ニンマリとする。昼食後、一旦民宿「新鼻荘」へ行き部屋割りの指示通りに部屋で小休止、庭先の餌台に来るヤマガラをカメラに収めていると、宿の人が差し出す手の餌に飛んでくる程慣れている野鳥にホッとするのを感じました。夕方近く、久野さんの運転で明朝の下調べを兼ねて伊豆岬～富賀浜～大路湖～アカコッコ館を巡って帰宿、夕食後早めに就寝。



29日のアカコッコ館で、指定席になっていると言われる場所の枝先へタネコマドリが美声をご披露、シャッターと共に堪能出来た。朝食後時間調整の為アカコッコ館へ再訪して思い思いに探鳥散策後、三池港に集合し昼食。久野さんが海岸で亀を見た画像に示す、亀は千年と言われる通り良いことがあるお土産のおまけでしょう。ほぼ定刻通りに出航し、甲板上に

三脚をセットしましたがエンジンの震動に対応出来ず残念でした。大島出航後暫くして高速船が夕陽を浴びて快走、追い抜かれて見えなくなりました。その後客室にて休養、定刻に竹芝に到着解散。幹事さん・島でドライバーを務めてくれた御二方に厚くお礼申し上げます。有難うございました。

(実施日 4月27～29日)

## 第219回 キンラン鑑賞会

### 一言コメント

**藤田啓介** ご案内通りのきれいな「大株のキンラン」と「ギンラン」を鑑賞することが出来ました。後半は講演会で配布された地図を片手に古墳群と新掘込製鉄遺跡の場所を確認して歩いていました。手賀沼里山クラブの皆さま、ありがとうございます。

**矢野達志** 爽やかな森の空気のなかで、昨年より増えたキンランとギンランを、心ゆくまで鑑賞することができました。環境の維持に日々努力されている方々に感謝します。ありがとうございました。

**畠中暁美** 今日は本当に有難うございました。まさに五月晴れのお天気に恵まれ、美しいキンラン、可愛いギンランを堪能しました。日頃の努力が実を結んだのですね。きっとキンランにも愛情が伝わっていたのでしょう。キンラン、ギンランの恩返しだと……有難うございました。

**牧嶋英夫** 黄色い花をつけた大株のキンランを斜面地一杯に見ることができました。また、ところどころで小型のギンランも見ることができました。キビタキの鳴き声も聞けて、いい散策ができました。幹事の方、ありがとうございました。



## 奥日光撮影会に参加して

中西 榮子

5月9日～10日の奥日光撮影会に参加させて頂いた。平地と違い奥日光ともなると、季節が1ヶ月あるいは2ヶ月近く逆戻りしたようで、中禅寺湖畔、光徳牧場、湯の湖周辺など至る所で、桜の優しい花が出迎えてくれた。二日目に訪れたイタリア大使館別荘付近にある桜は、二日前に開花したばかりという。また、芽吹いたばかりの木々も多く、その柔らかい緑の色に目も心も癒やされる思いがした。まさに日本ならではの美しさであろう。



今回の撮影会で、一番脚光を浴びたのは光徳牧場で出会ったキバシリであろうか。流れに沿って探鳥を始めると、苔むしたところにアカハラが現れひとしきり注目を集めた。ところが、ほぼ同時にキバシリが現れると、皆さんの関心はキバシリに集中し大騒ぎ。あちらに飛んだ、こちらに飛んだとキバシリの姿を求めて移動する。こんなに地味な鳥が、これほど脚光を浴びるとは。

日光植物園で出会ったオオルリやキビタキのさえずりも新緑の木々の中で、ひととき美しく響き渡り、良い被写体になってくれた。キビタキとの出会いの機会は多く、日光植物園、華厳の滝付近、戦場ヶ原、イタ

リア大使館別荘付近等、その美しい姿を何度も見ることが出来た。



忘れ難いのは、早朝、湯滝、湯の湖周辺で、エゾムシクイをはじめ、たくさんの小鳥のさえずりを堪能することが出来たことである。浴びるほどの小鳥の声に、新たなエネルギーを頂いたように思う。この時、姿を確認出来たのは、ミソサザイ、ルリビタキ、ジョウビタキ、エゾムシクイ、コガラ、ヒガラ、キクイタダキなどである。

楽しい時間は、過ぎるのが早い。二日間は、あっという間に終わった。幹事の久野さん、渡邊さん、安全運転をしてくださった伴野さん、松田さん、石塚さん、久野さん、ご一緒させて頂いた皆さん、このたびは、大変お世話様になりありがとうございました。

(実施日 5月9～10日)

## 第223回 深大寺と植物園

### 一言コメント

**小玉信子** 素晴らしいバラ、薔薇、ばら。たくさんの品種と色彩。楽しいバラ園のひと時でした。深大寺そばも懐かしく食べました。

**金子智恵子** バラの花に囲まれた私は、ちょっとだけ気分最高、楽しい一日でした。初めて来た深大寺の蕎麦は格別の味で、おいしかったです。

**金子幸子** 久しぶりの深大寺、着いたらすぐお蕎麦を食べ、元三太子堂に参り、野鳥探鳥の開祖の中西悟堂像を見学しバラ園に向かいました。バラ園は色とりどりのバラが素晴らしい。幹事さんありがとうございました。

**小野光** 古くからある深大寺と植物園は、木々草花が落ち着いて見ることができましたと言いたいのですが、天気良くバラが見頃だったせいかおおぜいの人が訪れていました。バラの花ことばは「愛」。う～ん今回

は「愛」の代わりにバラソフトで満足しました。

**青木典子** おいしい蕎麦、バラの香りと色、堪能しました。新緑が芽吹いた木々がすがすがしく、楽しい一日でした。

**牧嶋英夫** バラ園では赤、ピンク、白、黄の美しいバラを見ることができました。バラの香りも楽しみました。深大寺ではそばを食べ、中西悟堂の像も見ました。

**児玉美時** よかったです。初めての参加でしたが、皆さんにとっても親しくしていただきました。友の会に入会します。これからもよろしくお願いします。

**佐藤聡** 武蔵野の森と古刹、素晴らしい癒しの空間ですね。

**青山正子** 素敵な花をよい季節に見ることができて、幸せでした。

**市村借子** 一番良い時期に、深大寺とバラ園を散歩できました。また明日から頑張れる!!

**染谷廸夫** 10年ぶりに深大寺と神代植物園にきて、懐かしかった。新緑がまぶしかった。バラが人間の歴史に登場したのは古代バビロニア時代から(紀元前2000年)とか。原産地はチベット、中国雲南省、ミャンマーが主でそれがギリシャ、ローマなどヨーロッパに伝わったという。今日バラの歴史を勉強をしました。

**小林光江** 都内の喧騒から逃れ、新緑萌える深大寺から植物園へ行くと、多くのバラの美しさに言葉を失い、素晴らしい心の栄養で満たされました。武蔵野の面影残る貴重な緑地を大切に残すことを願いつつ、小さな花旅に感謝の一日でした。担当の方々や皆さん、ありがとうございました。



## 着任のご挨拶

館長 鈴木順一

この4月に前任者の齊藤安行の後を継いで当館の館長に着任いたしました鈴木順一と申します。着任前は、手賀沼課において、主に手賀沼の浄化や自然環境の保全事業に取り組んでまいりました。今後は、当館スタッフ、また、市民スタッフが持てる能力を十分に発揮して業務に励めるよう、そして、その結果として、少しでも当館の魅力向上に繋がるよう、力量不足ではありますが、館長としての役目を果たしてまいりたいと存じます。



先日、今年3月に日本博物館協会が発行した「日本の博物館総合調査報告書」を拝読したところ、我が国の博物館において、平成25年度の年間入館者数が3万人を超えている博物館は全体の4割にも満たないことを知りました。当館においても、当該年度は3万人を若干下回っておりましたが、26年度以降は持ち直し、毎年度3万人を超える入館者数を確保しております。当館は、平成2年に開設して以来、今年で27年目を迎えているわけですが、この間、常設展示のリニューアルが行われないうちで、これだけの入館者数を確保できていることは、ひとえに「友の会」の会員の皆様が、長年にわたって続けてこられた様々な活動の成果が、一つずつ実を結んでいるものと考えております。

また、昨年より貴会で実施しているツバメの巣の分布調査については、本来であれば博物館が行なうべきところ、会員の皆様が主体となって積極的に事業を展開していただいておりますことに心より感謝申し上げます。

今後とも、皆様と共により良い博物館活動を目指してまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

倒木は土になりたり水鶏鳴く

水田の水を斬って飛ぶ夏つばめ

アオサギの影の揺れおる植田かな

発作探鳥会の句 高橋京子



青バラの甘き香放つ「ブルームーン」  
貴婦人のごと際立ちて見ゆ

つくば峰に萌ゆる若葉はゆさゆさと  
雉の高鳴き里にひびかふ

梅雨晴れの色の乏しき寺庭に  
白牙えざえと半夏生の花

野の花を活けて風入れ駐在所

帰路すでに植田となりし水明かり

俳句と短歌 小林光江

## ～次号(98号)の発送作業～

次号の発送は8月29日(火)13:30から友の会ルームで行います。会員の皆様のご支援をお願いします。

## 投稿していただく方へ

- 短歌・俳句 各3点まで
- 詩 20字×26行以内を1編
- エッセイ・童話などの掌編 25字×32行を1編
- 投稿は随時受付

掲載については、編集会議で検討させていただきます。

原稿は下記のアドレスへお願いいたします。  
tegalake5188@yahoo.co.jp (長妻輝夫)

## オオバン「この1冊」文庫を開設しました!

これまでオオバン「この1冊」でご紹介しました書籍(マンガも含む)を友の会ルームの本棚に並べました。名づけて「オオバンこの1冊文庫」です。会員のみなさんにお1人1冊、2週間まで貸出をいたします。友の会ルームを覗いてみてください。(編集北村)

友の会の FaceBook インターネットで「我孫子市鳥の博物館友の会」で検索、あるいは、下記 URL をクリックしても開きます。

<https://www.facebook.com/torihaku.tomonokai/>

## 友の会専用のメールアドレス

ooban-abiko@hotmail.co.jp  
友の会への問合せなどにご活用ください。



## 行事報告

### 【平成 29 年度総会報告】

実施日 4月 16 日(日)

鳥の博物館友の会の平成29年度総会が、鳥の博物館2階多目的ホールにて開催された。

開会にあたり木村稔会長より、水の館のリニューアルオープンで鳥の博物館の入場者も増えることを期待していることと、今年度もツバメの巣調査を全員参加で進めたいとの挨拶があった。

ついで会長を議長に、矢野達志氏を書記に選出し、提案された議案について審議した。

#### 報告事項

事務局より 27 年度の事業報告が詳細になされ、承認された。鳥凧同好会は、JBF での凧貸出数が新記録だったこと、とりで利根川たこあげ大会で参加者 5 名全員が入賞したこと。鳥絵同好会では、鳥博との合同イベント「和紙で鳥のカードを作ろう」と、JBF で「和紙で鳥の羽を作ろう」を実施したこと。デジカメ同好会は、JBF で手作りの鳥のカレンダーを販売し完売したこと。みて歩こう会は、行事プラス「動物園の鳥を見よう」を開催したこと。万葉集同好会は、月 1 回の定例会で「私の好きな万葉集歌」を各自が披露したこと、万葉集ゆかりの地を訪ねたこと。友の会展に代わる「アビシルベ展示」では、「手賀沼で冬に見られる鳥 84 種とスケッチ展」を開催し、手賀沼のジオラマと 84 種の鳥の写真および鳥絵同好会の作品の展示、友の会・同好会の紹介をしたこと。

広報関係では、会報「オオバン」は、エッセイ、感想文、行事予定・報告、探鳥地・本の紹介をしたこと、友の会 HP ではタイムリーな内容更新をしたこと、またあらたに Facebook を開設したこと。友の会講座 1 回と我孫子野鳥を守る会との共催講演会、見学会、映写会、懇親会、新入会員オリエンテーションおよび春・秋の探鳥会等の開催、調査活動として月例の北新田探鳥会とツバメの巣調査、博物館支援として鳥博裏庭整備が報告された。

会計担当より 28 年度の決算報告がなされ、ついで監事より適正に処理されているとの監査報告があり承認された。

#### 第 1 号議案 平成 28 年度余剰金処分

29 年度は、PC 購入、外部展示や JBF での支出増が見込まれるため、余剰金 239,374 円は全額を次期繰越金とすることが提案され、決議された。

#### 第 2 号議案 平成 29 年度事業計画

下記の事業計画が討議され、決議された。

1. 講座  
友の会講座を開催します。
2. 同好会活動  
鳥凧同好会、デジカメ同好会、鳥絵同好会、みて歩こう会、万葉集同好会の活動を活発に行い、参加者増をはかります。
3. 探鳥会・観察会  
春・秋の探鳥会、夏のホタルのタベなどの自然観察会を開催し、自然への関心・理解を深めます。
4. 調査活動  
北新田探鳥会を毎月 15 日に開催してデーターを蓄積します。また、ツバメの巣調査を継続します。
5. 広報活動  
ジャパンバードフェスティバルへの参加、友の会展の開催、会報の発行、ホームページ・Facebook の運営、映写会の開催、作品の展示・外部発表、小・中学校からの協力要請への対応。
6. 博物館行事への協力  
企画展・観察会・セミナー、鳥調査や情報提供などに積極的に協力します。また、鳥博の裏庭整備作業にも協力します。
7. その他
  - ・4月に総会、偶数月に役員会を開催し、会運営上の諸問題を検討し処理します。
  - ・自然関連の博物館・施設の見学会を開催します。
  - ・適切な時期に親睦会を開催します。
  - ・適当な時期に新入会員オリエンテーションを開催します。

#### 第 3 号議案 平成 29 年度予算

事業計画を推進するにあたり、別記の収支予算について討議され、決議された。

#### 第 4 号議案 平成 29 年度役員

2氏が退任され、下記の通り選出された。

- 会長 木村 稔
- 副会長 池田日出男 松田幸保
- 監事 松本勝英 石塚喜久夫(新任)
- 運営委員
- 事務局担当 松田幸保(兼務)





庶務担当	井上 正 倉重力也 染谷迪夫 森元夏木	上野 拓 桑嶋光子 畠中暁美 脇谷房子
編集担当	長妻輝夫 伴野茂樹	北村章子 矢野達志
会計担当	藤田慎介	(副)渡邊俊文
退任	植田啓介(前監事) 志村次男(前庶務)	

### 第5号議案 規約改定

友の会の変遷にともない、現状に即した規約改定が提案され、決議された。

- ・事務局住所の表示
- ・目的を能動的にした
- ・事業に広報活動を付加
- ・役員会の役割の明文化

### 平成28年度決算と平成29年度予算

(単位:円)	28年度決算	29年度予算
収入の部		
会費収入	579,000	576,000
寄付金収入	0	0
雑収入	99,402	45,005
前年度繰越金	164,025	239,374
収入合計	842,427	860,379
支出の部		
事業費支出	552,634	667,000
事務費支出	40,817	120,000
予備費	9,602	33,379
支出合計	603,053	820,379
当期収支差額	239,374	
次期繰越金		40,000

(註)28年度は友の会のPC更新は実行されず、29年度に新たに購入するために事務費支出を増額した。

<出席者> 25名 倉重力也、井上正、池田日出男、上野拓、伴野茂樹、松本勝英、脇谷房子、北村章子、矢野達志、植田啓介、桑森亮、藤田慎介、桑嶋光子、志村次男、渡邊俊文、長妻輝夫、畠中暁美、石塚喜久夫、印南宏、染谷迪夫、小林建吏朗、金子幸子、柳沢朝江、木村稔、松田幸保(作成 事務局)

### ★総会後の行事として

昨秋に放送されたNHK俳句「渡り鳥」の録画を鑑賞し、俳句に興味を持ってもらった。また、2つの同好

会が今夏訪れる「大磯のアオバト」の会員制作ビデオを、予備知識として鑑賞してもらった。(報告 松田)

### 【探鳥会—印西市発作地区の水田】

実施日 5月7日(日)

最初のポイント相島でムナグロやキョウジョシギを確認でき、畔にはチュウシャクシギの姿もあった。ツバメチドリで集まっている車列を横目に浅間橋を渡り、オオヨシキリのさえずり姿を楽しみながら手賀川の堤防に上がると、目の前には雛を連れたコブハクチョウが。

近年の発作橋周辺では水田にはシギ・チドリの姿が乏しく、今年も同様だった。亀成地区に入り、松山下公園でトイレ休憩にした。その後亀成地区にもどり、徒歩で探鳥した。ムナグロやキアシシギのなかに、ハマシギの夏羽が目立った。ここで営巣しているコブハクチョウの威嚇姿は見事だった。

鳥合わせを予定していた五本松運動広場は消防車が集まるイベントがあるようなので、浅間橋近くの土手で鳥合わせをして解散した。

<認めた鳥> キジ、カルガモ、キジバト、カワウ、アオサギ、ダイサギ、チュウサギ、コサギ、オオバン、ムナグロ、チュウシャクシギ、キアシシギ、キョウジョシギ、ハマシギ、トビ、ハシボソガラス、ハシブトガラス、ヒバリ、ツバメ、ウグイス、オオヨシキリ、セッカ、ムクドリ、スズメ、ハクセキレイ、カワラヒワ 計26種 番外 コブハクチョウ、カワラバト(今回からコブハクチョウは鳥博に合わせ外来種扱いとした)

<参加者> 18名 橋本了次、井上正、木村稔、畠中暁美、吉田隆行、矢野達志、松本勝英、松本葉子、印南宏、常田三枝子、高橋京子、植田啓介、渡邊俊文、肥後邦彦、石崎重信、小林建吏朗(担当)伴野茂樹、松田幸保(報告)



### デジカメ同好会

◆4月の会

●三番瀬撮影会



**実施日** 4月2日(日)

**内容** この日は他の野鳥観察会も開催されていたので、ふなばし三番瀬海浜公園は人であふれかえっていました。天候もよく無風で、今回は浦野さんご一家のお子さん達も参加され、和気あいあいの撮影会でした。9時50分の現地集合時には砂浜は潮が満ちていて干潟はまだ現れていませんでした。船橋側の防潮堤にはミヤコドリやハマシギなどが休んでいました。潮が引いてくると鳥たちが干潟に次第に下りてくるようになりました。市川側の干潟にはミヤコドリの集団が採餌するようになり、比較的近距离で撮影できました。船橋側から市川側まで砂浜を徒歩で横断したので、結構タフな撮影会でした。残念ながら春の渡りのシギチドリ類はまだ現れませんでした。12時に解散し、昼食後帰路につきました。



**確認できた鳥** スズガモ、オオバン、ハマシギ、ミユビシギ、シロチドリ、ダイゼン、ミヤコドリ、ウミアイサ、ユリカモメ、コサギ、ダイサギ、アオサギ、オオジュリン、ハクセキレイなど

**参加者** 17名 浅野利幸、荒井彩月、池田日出男、石塚喜久夫、植田啓介、浦野渡瑠、浦野里美、浦野春樹、浦野夏輝、大久保陸夫、金谷喜一郎、仲澤成二、中西榮子、伴野茂樹、森澤好臣、吉田隆行、丸嶋紀夫(報告)

### ● 三宅島撮影会

**実施日** 4月27日(木)～29(土)

**内容** 一日目4時45分鰯ヶ浜港着レンタカー会社に行き手続きまず伊豆岬へ、ウチヤマセンニューの声はきこえるが見えない。

その後アカコッコ館へ、アカコッコ、タネコマドリ、オーストンヤマガラ、イイジマムシクイ、モスケミノサザイ。二日目カラスバトの声はするが姿は確認できなかった。

二日目の朝5時宿を出たためかウチヤマセンニューを全員が見られ安心した。

天気は晴れで暑くも感じた。確認した鳥はメジロ、ホオジロ、ヒヨドリ、モズ、キジバト、カワラヒワ、ダイサギ、コゲラ、アマツバメ、ウグイス、シジュウカラ、スズメ、ハシボソガラス、ミサゴ、インヒヨドリ、アオバズクの声。

帰り三池港出港、航路は海が穏やかなためか主なものはアホウドリ、クロアシアホウドリ、オオミズナギドリ、カンムリウミスズメくらいだった。

**参加者**6名 久野誠一、金谷喜一郎、小山雄司、丸嶋紀夫、古賀嗣朗、田中富夫、(報告)



### ● 室内会

**実施日**4月22日(土)

**内容** 4月の撮影会「三番瀬」の水鳥を中心に発表があった。又、珍鳥カンムリカッコウ、シマアジ、センダイムシクイ、迷鳥カオグロアメリカムシクイ等も映写された。外国のハワイや南米の珍しい野鳥も紹介された。伴野さんから行事計画として、次の要請があった。

- 1) 昨年好評のカレンダー写真の応募を予定している。
- 2) ツバメの写真の応募をお願いしたい。

**参加者** 15名 丸嶋紀夫、伴野茂樹、荒井彩月、石塚喜久夫、仲澤成二、浅野利幸、長妻輝夫、井上正、桑森亮、松田幸保、金谷喜一郎、渡邊俊文、吉田隆行、久野誠一、古賀嗣朗(報告)

### ◆ 5月の会

#### ● 奥日光撮影会

**実施日** 5月9日(火)～10日(水)

**内容** 昨年からはまった奥日光撮影会も今年で2回目、雨の天気予報が外れ快適な撮影会となりました。4台に分乗し200Kmのドライブで日光植物園に到着、オオルリ、キビタキ、サンショウクイなどの鳴き声の中、出だしの良い撮影が始まりました。

華厳の滝で昼食後、赤沼茶屋から戦場ヶ原に向かい、ミソサザイ、アカハラ、ノビタキ、マガモ他に出会い、オオジシギを撮った人もいました。

次の光徳牧場周辺では、ヒガラ、コゲラ、アカハラに会い、さらにキバシリが何回も出て、撮影は絶好調でした。昨年に続きジュウイチの声も聞こえましたが、トケン類が飛んだ後姿を見ただけでした。

夜は、おおりり山荘の飲み放題パックの個室で、石塚代表のあいさつ、大久保長老の乾杯の後、鳥談議に花を咲かせました。2 時間後、中西さんの中締めでお開きとなりました。

翌日は天気予報は雨で、自由行動としましたが、雨は降りませんでした。3 グループが行った光徳牧場では、前日と同じ場所でミソサザイ、カケス、キバシリ、ヒガラ他が近距離で撮れ、皆さん大満足でした。

1グループが行ったイタリア大使館でも、オオルリ、キビタキ他が迎えてくれたそうです。

昨年と違った鳥が撮れて、楽しい撮影会となりました。長距離運転した皆さん、お疲れさまでした。

**参加者** 15名 古賀嗣朗、田中富夫、金子雅幸、青木典子、伴野茂樹、石塚喜久夫、佐藤さなえ、松田幸保、大久保陸夫、桑森亮、丸嶋紀夫、浅野利幸、中西榮子(幹事) 渡邊俊文、久野誠一(報告)



戦場ヶ原のオオジシギ  
撮影 伴野

## ●室内会

**実施日** 5月27日(土)

**内容** 16名の参加者から時節柄、色々な写真が紹介され楽しい映写会となった。菜の花畑の上を飛ぶコミズク、夏羽への変化が顕著なエリマキシギ・ムナグロ・オオハムなど。また、ソリハシセイタカシギも紹介された。

探鳥会、撮影会では、発作のゴイサギ、キョウジョシギ、三宅島のアカッコ、イイジマムシクイ、奥日光のキバシリ、ノビタキ等が映写された。他にも長野のコマドリや舳倉島のコウライウグイス、マミジロツメナガセキ

レイなど数多くの鳥が紹介された。手賀沼付近では、コブハクチョウ、オオバン親子に、ツバメチドリ等が紹介され楽しい室内会となりました。

**その他** JBF 販売カレンダー製作の打合わせ

写真のテーマは日本で写した野鳥とする。

12か月各月にふさわしいものを割り付ける。

ひと月に6枚の写真(昨年同様)を掲載する。

応募は横1280ピクセル相当のJPEG データーをメールで送る。

応募締め切りは8月末で、写真の枚数は制限しない。

選考は役員会 JBF 担当チームの一部(編集が主)で行う。

製作部数800部とする。

カレンダー製作は10月下旬に行い、販売は11月4、5日の JBF で販売する。

製作、販売、担当はデジカメ同好会、みて歩こう会の有志で行う。

以上、打ち合わせを行いました。詳細は次回室内会で決定する。

**参加者** 16名 浅野利幸、荒井彩月、桑森亮、古賀嗣朗、幕田利昭、幕田文子、小池勉、松田幸保、長妻輝夫、吉田隆行、仲澤誠二、森澤好臣、伴野茂樹、安野昌彦、渡邊俊文、石塚喜久夫(報告)

## みて歩こう会



### ●第220回 利根運河の桜と草花

**実施日** 3月30日(木)

お天気に恵まれ、桜を期待しましたが、どうやら欲張りすぎのようで桜は二分咲といったところでした。お花見にはちょっと早めでしたが、土手は菜の花で黄色一色。ちょうちょうが少し力なげに飛ぶなか、ウグイスの声を聞きながら歩いていると心が穏やかになっていくようでした。28名の参加者でいかに利根運河が多くの人びとに愛されているか改めて知らされました。何より柳沢さんの丁寧な説明は魅力的ですし、今回は利根運河を守る会の新保国弘さんも参加して下さり、古墳のお話、7号古墳からは珍しい魚型埴輪が発掘されたとか。魚は鮭だったらいいこと。理窓公園の成り立ちなど、今まで知らなかった事を沢山教えていただきました。アマナが群生して咲いていたり、イヌムラサキも昨年よりだいぶ増えていたよ

うに思いました。また来年も来ようと強く思いました。やはり運がよかった！



北へ帰るために運河に集合したヒドリガモの群れ(100羽ほど)  
撮影 伴野

参加者 28名

池本加代子、小林光江、小林建吏朗、小沼和子、鈴木淑子、遠藤安子、森住昌弘、高波宣子、松田幸保、上野竹子、小池勉、新妻陽子、佐藤早苗、矢野達志、桑嶋光子、脇谷房子、伴野茂樹、原田高子、武藤藍子、村松寿夫、小玉文雄、小野光、植田啓介、新保國弘、橋本清、(会員外)真保一枝 (担当)柳沢朝江、畠中暁美(報告)

### ●第221回 日立市かみね動物園

実施日 4月14日(金)

「動物園の鳥を見よう」シリーズ 第13回です。今回は、桜の名所神峰公園にある動物園訪問でした。

実施日が雨天延期でのびたためか参加者は4名と少人数でしたが、天気は快晴でお花見日和、茨城県内ではどこも桜はちょうど満開でした。常磐線の車窓からは偕楽園の桜、千波湖の桜、日立市のバスでは桜並木が楽しめました。神峰神社の枝垂桜はとても見事で、動物園内からは満開の桜ごしに雄大な太平洋が一望できました。

今回はコンパクトな動物園に、少人数でしたので園内をじっくり観察できました。まずは日立市の鳥ウミウがお出迎え、アオバネワライカワセミの水色の羽がきれいでした。チリーフラミンゴが羽を広げたら翼の内側が黒いのを再発見。ノスリは目の前で元気に動き回り、いろいろなポーズをとってくれました。サルの楽園ではボリビアリスザルが放されていて、エサ(ヒマワリの種)を夢中で食べている様子は可愛かったです。カピ！バラエティハウスには4月4日に生まれたばかり、生後10日のカピバラの赤ちゃん達がお母さんのおっぱいを一生懸命に飲んでいました。

今回はお花見しながらの動物園観察でした。

参加者 4名 金子幸子、桑嶋光子、(担当)矢野達志、須貝基康(報告)

次回は、東武動物公園 日時6月20日(火) (雨天

の場合は6月23日(金)に延期)



### ●第219回 キンラン鑑賞会

実施日 5月2日(火)快晴

10時に道の駅しょうなんに集合、シュンラン、ヤマユリ、キンラン鑑賞会とここ数年継続している企画に多くのリピーターの面々、そして初顔の方達を交え手賀沼に沿って30分間の徒歩、ミステリーエリアカナクソ山に到着。斜面地に沿って黄金色の“キンラン”が一面に咲く中を回遊路に沿って鑑賞しました。後半は可憐な“ギンラン”も群生で迎えてくれ、カメラのフラッシュを浴びていました。約1時間回遊して解散。出発点の道の駅しょうなんに三々五々帰宅の途に就きました。最近、位置情報付スマホで希少種を撮影しネットで流す不心得者が後を絶たず、愛好家たちを悩ませております。ご注意願います。

参加者 20名 北村章子、畠中暁美、牧嶋英夫、武藤藍子、小沼和子、小野光、藤田慎介、高波宣子、矢野達志、植田啓介、染谷迪夫、常田三枝子、脇谷房子、佐藤早苗、青木典子、小林建吏郎、小玉文夫、百瀬喬、遠藤武松、倉重力也(報告)

### ●第223回 深大寺と植物園

実施日 5月16日(火)

我孫子駅で18名、吉祥寺駅で1名が参加し、深大寺へ向かった。深大寺境内で散策コースと集合時間、場所を説明して一時解散。深大寺を詳しく見学して門前蕎麦屋で深大寺そばを楽しんだ人、早く植物園に行き満開のバラを見ながらランチを楽しんだ人、それぞれの過ごし方を楽しみました。

昼食後バラ園テラスで全員集合、バラのアイスクリームを楽しみながら、植物園を散策しました。バラの香りと色彩に包まれた午後でした。

参加者 19名 石塚幸子、染谷迪夫、小林光江、市村

偕子、藤田慎介、藤田春美、牧嶋英夫、小玉信子、金子幸子、小野光、青山正子、高橋京子、児玉美時、青木典子、金子智恵子、佐藤聡（担当）高波宣子、植田禮子、伴野茂樹（報告）



### ●第224回 足利学校

実施日 5月30日(火)

往路での電車乗換の際のハプニングもあり現地到着が予定より20分程度遅れたが、その間、参加者の車内事前学習で大いに盛り上がり、早くも全員の一体感が生まれた。夏のような天気の中で午前中、鎌倉時代以降隆盛となった「日本最古の学校」足利学校と「足利宅跡で国宝」鏝阿寺はガイドによる1時間半もの詳細で興味深い説明を受けた。中世に既に充実した教育施設で日本全国の俊英を集めた日本の最高学府が足利に存在し、西欧にもその名を轟かせた歴史には唯々驚かされる。また1196年に足利義兼（源頼朝の義弟）により創建された鏝阿寺の広い境内に散在する多くの歴史的建造物の精巧かつ重厚な様式美を代表としてその他数多くの由緒ある神社・仏閣により、足利が「関東の小京都」と言われる所以を如実に実感。

昼食は足利随一の老舗「一茶庵本店」にて美味しい蕎麦に舌鼓を打ち、午前中の疲労を回復。午後は柳原用水沿いのあしかが遊歩道を散策しながら、足利氏所縁の法楽寺（足利義氏が鎌倉時代に草創、関東の銀閣寺）、法玄寺（足利義兼の正室、北条時子の菩提寺）を回った。最後に機業地足利の守護神として1705年に勧請された織姫神社の227段もの急な階段を全員登り切り、関東平野を一望の上、縁結びの神様に合掌し皆さん清らかな気分浸った。

一日、閑静で落ち着いた足利の町並みや史跡・文化財を予定通り5か所巡ることができ、心癒される楽しい旅であった。

参加者 12名 脇谷房子、常田三枝子、小玉信子、藤

田春美、野口洋子、橋本清、染谷迪夫、矢野達志、寒河洋次、牧嶋英夫（担当）藤田慎介、関谷厚雄（報告）



## 《万葉集同好会》

### ●4月定例会

日時 4月19日(水)

場所 友の会ルーム

参加者 11名 木村、岡本、鈴木、飯高、越岡、平山、深谷、野口、関口、柳沢、亀田（報告）

内容 ◇私の選んだ万葉秀歌

岡本・1-40、41、42（柿本人麻呂）。持統天皇が伊勢国へ行幸した時、都で留守番していた人麻呂が伊勢にいる人々を思って読んだ歌。一行の中には人麻呂の恋人もいたらしい。この時の行幸には農繁期でもあり反対意見もあったが、持統天皇は強行した。

野口・食と万葉集。万葉歌人たちのエネルギー源は食にあった。仏教の影響が少なかったため獣の肉、鳥、魚、貝などの動物タンパク質を食べられた。米は十分ではなかったが、麦、粟、稗などの雑穀を食べていた。結果的に多様な食物を適度に食べていたようだ。万葉人は、後世の人より体格が大きかったとの研究もあるそうだ。

木村・19-4144（大伴家持）。越中赴任中の家持が燕と雁に望郷の思いを重ねる。万葉集で燕を歌ったのがこの一首のみとは驚き。

### ●5月定例会

日時 5月17日(水)

場所 友の会ルーム

参加者 7名 木村、鈴木、越岡、伊藤、小野、平山、亀田（報告）

内容 ◇私の選んだ万葉秀歌

平山・17-3892、93、95（大伴旅人の部下たち）。天平2年（730年）大宰府長官だった旅人が京へ帰る時、



部下たちは旅人とは別に海路で京に入った。船旅の道すがら、彼らが旅を悲しみ、想いを述べて作った10首の歌の内の3首。巻17の巻頭を飾っている。

小野・11-2798(作者不詳)。片思いという恋の歌だが、伊勢の国では朝夕、鮑を食べていた、というのが面白い。伊勢の食材は伊勢神宮の神々へも供されていたのであろう。

小野・12-2971(作者不詳)。天皇へ献上する塩を作っている人の作業着(藤衣)がいい風合いだ。当時の塩は越前(敦賀)産や福岡(志賀)産が有名だった。藤衣は藤のつるを繊維化して作った衣、ジーンズの先祖、着心地はそうとう悪かったと思われる。作業風景は青木繁の古事記を題材にした絵画を連想させる。

### ●万葉集の花鑑賞会

日時 4月27日(木)

場所 市川市万葉植物園

参加者 6名 木村、岡本、鈴木、越岡、野口、亀田(報告)



万葉植物園は万葉集に詠まれている植物を集めた和風庭園。詠まれている歌と植物の関係を説明した表示も充実していて、広さも程々なので散策には適当である。

### ≪鳥絵同好会≫

#### ●豆皿に絵付け体験

実施日 3月25日(土)9時半～12時半

場所 陶芸家宅工房

参加者 2名 山下洋子、牧野恵子(報告)

前回の絵付け体験は12月に実施されました。今回は2回目となりますが、参加者の2名とも初めての参加でした。

まずは豆皿を2枚選び、それぞれ題材を考えて下絵を描きます。山下さんは眠っているカモメとヤモリを描き、



牧野は陶芸家さんが用意してくださった線描きの鳥とスズメに決めました。

下絵を転写して墨で形を描いていきます。たくさんある色の中から希望の色を選んで、その色毎に乳棒で擦りながら絵具を作って塗ります。実際に目にしている色と仕上がりの色が異なるので、なかなか出来上がりが想像できません。

また平素使用している絵具と使い勝手が違うので、色を置いていくという作業自体も新鮮でした。山下さん曰く、「驚きと感激と喜び」を味わえた時間でした。焼成は陶芸家さんをお願いして、後日の受け取りとなりました。

焼きあがった作品は本当に可愛らしかったです！陶芸家さんのご指導やさりげないアドバイスやフォローを頂いたお蔭です。

山下さんは「今回体験させてもらったことで、今後博物館に行ったら、ちょっと見る目が違って来るかも知れません！」とお話していました。

絵付けだけでも、こんなに何段階もの作業を重ねてようやく仕上がるということを知ることが出来ました。

本当に有難うございました。愛おしいと思う鳥の姿を普段目にする事の多い食器に映すことが出来て、とても嬉しく思いました。



(写真上 山下洋子さん作、写真下 牧野恵子さん作)

### <鳥博・鳥絵同好会合同イベント 和紙で鳥の羽根を作ろう>

実施日 5月14日(日)10:00～12:00、13:30～15:30

JBF で実施した工作を再び楽しんで頂きました。実際の数種の鳥の羽根をモデルにし、羽根の構造等の説明をしました。カラフル&リアルな出来上がりに皆さん満足して頂けました。みんなで鳥の素晴らしさを楽しめて良かったですね。

当日はエンジョイ手賀沼もあり大盛況でした。

参加者 午前 子供 103名、午後 子供 71名

スタッフ 8名 報告 森元夏木



## シリーズ・ちょっと拝見 友の会活動 ～万葉集同好会の巻～



シリーズ第2回は「万葉集同好会」です。鳥の博物館友の会に万葉集が出てくるのは、ちょっと不思議ですね！ その訳は友の会ホームページに次のように紹介があります。

「万葉集には4500余首の歌が収録されています。その中には、鳥を詠ったもの約580首、花を詠ったもの約1900首他、動物や自然を詠った歌が沢山あります。私たちは、それらの一つ一つを読み解きながら、万葉人が鳥を始めとして自然とどうかかわり合ってきたのかを知り、楽しむとともに、美しい日本の自然を守っていくことの大切さを学びます。当会は、万葉集の先生はいませんが、鳥は当然のことながら、花や歴史に興味を持つ仲間の集まりで、毎月各自が選んだ歌を読み、感じたことを話し合って知識を深めています」これで納得できました。「鳥」「花・動物・自然」「歴史」がキーワード。

会の歴史は、2012年10月まで毎週水曜日に開催されていた「水曜サロン(万葉集に詠われている鳥をテーマと鳥に係わる話なら何でも楽しむ茶話会)」から2012年11月に同好会に発展。そのいきさつは万葉集の鳥をテーマとしていましたが、その中で時代背景や歌人の人生を知ることによって万葉集への関心が深まり、興味の対象が鳥から広範囲になったからです。

2017年5月現在、会員数は18名。入会のきっかけは、「鳥博で遊んでみたかった」「博物館の見学で同好会を知った」「何か他のことをしたいと思ったときに会に誘われた」などだそうです。

毎月第3水曜日13時30分から友の会ルームで行われている定例会の他に、4月27日行われた万葉植物園見学など万葉集に関係した史跡・施設の現地研修も。現在のテーマは「私が選んだ万葉秀歌」です。

今回は5月17日の定例会にお邪魔して、活動を拝見させていただきました。この日は7名の方が参加、

発表者は小野さんと平山さん、最初にお2人の選ばれた万葉秀歌のレジメが配られました。歌の訳や解説が詳細に載っています！ 万葉集、万葉集解説、古事記、日本書紀、出雲風土記などで時代背景を調べているそうです。元理系の私にはふりがながないと読めない漢字が沢山ありました！

発表は歌の解説を行い、参加者の意見を交えながら歌を鑑賞するスタイルです。発表の途中でも色々な意見が出て、神話、地名や姓の由来、鳥居の形、作家の恋愛、郷土史など話題が豊富です！ それは万葉人の振る舞いを通じて、当時から現代への歴史の繋がりを知ることができる興味深い内容でした。それもそのはず、郷土史に詳しい方、恋や愛の歌に強い方、万葉集の知識習得のために文化講座に通っている方々がいらっしゃるからです。



2名の方の発表が終了するとコーヒープレイク。お菓子を食べながら、飛鳥への研修旅行計画、ツバメの巣調査などが楽しい会話でした。通常は、コーヒープレイクが終了すると木村さんから万葉集の鳥のお話を聞いて定例会が終わりますが、今回は取材のための時間に充てて頂きました。参加された皆さん、貴重な時間を頂いてしまい申し訳ありませんでした！

活動の楽しみを伺うと、「自分で想像して自分なりの解釈や説が出来る」「読んで書いて話すことで老化の防止」「一人遊びができる」などでした。また、同好会の今後の目標は、私の好きな歌100首を選んだ文集を作ることだそうです。是非、実現してください。

友の会の会員のお大半の方は、万葉集を昔々に学校で勉強されたと思います。万葉集同好会のような切り口で万葉集にチャレンジすると、バードウォッチングとは違う側面が楽しめると思います。興味がある方は是非、活動に参加してください。次回はみて歩こう会を取材します。お楽しみに！ (長妻記)

シリーズ・この一冊  
～ぼくのつばめ絵日記 深山さくら作～

ツバメの巣の調査期間が終わりました。皆さんのご近所で巣は見つかったでしょうか。

さて、今回ご紹介する本は小学校3・4年生向けの児童書です。子どもの本は物足りない、と思われるかもしれませんが、けれどもこれが、いい意味で大人を裏切ります。また、お子さんお孫さんとの話題作りにも、一役買うのではないのでしょうか。

春から4年生になる主人公は、終業式を終えると北の小さな田舎町に引っ越すこととなります。知らない土地で始まる学校生活の中で、ツバメの観察を通して友だちができていくようすを物語っています。町の人たちは、自分の家の軒先に巣を作るツバメを「うちのツバメ」と呼んでいます。「うちのツバメ」ですから、ヒナの糞もこまめに掃除して、巣立ちを見守ります。子どもたちはツバメのカップルに名前をつけて親しんでいます。

主人公は尾羽の長さでオスとメスの違いに気づいたり、のどの赤い部分の違いで個体差があることを知ったりします。最後に校長先生に連れられてツバメのねぐら入りを見に行く場面があります。ツバメがあまりにも身近すぎて、恥ずかしながらツバメのねぐら入りがあるとは思いませんでした。夏の夕方になると、手賀沼のヨシ原にたくさんツバメが舞っていたのは、そういうことだったのかもしれませんが。今年はしっかり観察です！

夏休みのお子さん、お孫さんにオススメの1冊です。友の会ルームの「この1冊文庫」で手にとってご覧ください。

フレール館 定価 1200 円＋税 <A・K>



## 事務局からのお知らせ

### ◆8月の役員会

日時 8月5日(土) 13:30～16:00

場所 鳥の博物館友の会ルーム

議題 1. 報告

2. 9月以降の行事

3. 会報「オオバン」No.98 号の発行

4. その他



注:日時が変更になっています

### ◆ 会員数

6月1日現在の会員数は325人(一般:188人 家族:51組133人 学生:1人 賛助:3人)です。

### 編集後記

★ツバメの巣調査が終わりましたが、近所で2番子のために巣作りをしているカップルがいます。毎日、観察するのが楽しみです。 T.N

★ツバメの巣を探して路地を歩くと、新しい発見があります。これも調査の楽しみの一つです。 t.y

★夏到来、夏バテ知らずで大いに楽しみましょう。SB

★暑さで鳥もくちばしを半開きにしています。それでも夜は涼しげなカラスウリの花とホタルと花火。楽しい夏を！ <A・K>

### メールアドレスの変更連絡について

メールアドレスを変更された方は、登録しているメールアドレス( tori\_tomo・digi-birds・walking-birds・manyou-birds)と新・旧アドレスを併記して事務局に連絡ください。

連絡先 松田幸保 [shobin@par.odn.ne.jp](mailto:shobin@par.odn.ne.jp)

### ◆4月役員会の主な審議内容

1. 29年度総会議案の審議
2. 友の会見学会の承認
3. ツバメの巣調査の実施方法について
4. アビシルベでのキャンペーンについて

### オオバン 97号 2017.7.1 発行

発行 我孫子市鳥の博物館友の会  
発行人 木村 稔  
編集人 長妻輝夫、矢野達志、伴野茂樹、北村章子

事務局 松田幸保  
〒270-1145 我孫子市高野山 234-3  
我孫子市鳥の博物館内  
TEL 04-7185-2212 FAX 04-7185-0639  
メール ooban-abiko@hotmail.co.jp  
会費 小中学生会員 1,000 円 一般会員 2,000 円  
家族会員 3,000 円 賛助会員 1 口 10,000 円  
郵便振替 口座 00160-8-36727  
我孫子市鳥の博物館友の会





# オオバン別冊 ～ 行事予定 ～

No.97  
2017年7・8月

## 【新入会員オリエンテーション開催のご案内】

昨年6月以降に入会された方を主な対象に、オリエンテーションを開催します。前回参加できなかった方、十分に質問等できなかった方の参加も歓迎です。

これは友の会会員が、友の会活動に積極的に参加し楽しんでいただけるよう、友の会の諸活動と各同好会をご紹介するとともに、鳥の博物館の活用と楽しみ方をご案内するものです。今後会員として会の諸活動に参加し、クラブライブを十分満喫していただくためにもぜひご出席ください。茶菓をつまみながら新旧会員と交歓しながら進めていきたいと思えます。

日 時 7月17日(月・祝) 13:30～15:45

会 場 鳥の博物館 2階友の会ルーム

### 内 容

- ・友の会会長、鳥の博物館館長のご挨拶
- ・友の会諸活動のご案内
- ・鳥凧同好会、鳥絵同好会、デジカメ同好会、
- ◇ みて歩こう会、万葉集同好会の楽しみ方

申込み 7月12日までに庶務担当 畠中暁美まで

Tel: 04-7185-0611

Mail: ak-hatanaka@jcom.home.ne.jp

## ◆ホタルの夕べ

期 日 8月6日(日) 雨天中止

集 合 東我孫子駅前 午後7時

持 参 懐中電灯、虫除け対策

解 散 午後8時を目安

案 内 毎年恒例の当会と我孫子野鳥を守る会との共催による岡発戸谷津田でのホタル鑑賞会です。岡発戸・都部谷津の整備が進み、近年はホタルの観察数が増え、昨年は347頭を記録し、過去最高となりました。参加者も40名を超え、我孫子では人気のホタルスポットになっています。是非、身近なホタルの棲息場所を訪れてみましょう。なお、解散は東我孫子駅前となります。

申込み 不要

担 当 木村稔、染谷廸夫

## ◆北新田探鳥会

日 時 7月15日(土)、8月15日(火)

7:30から10:00頃(今月から夏時間、集合時間が1時間早くなります。)

集 合 中央学院大学正門前又は金谷堰土手

盛夏の北新田ではどんな鳥に出会えるでしょうか? 広い北新田の夏景色を楽しみながら自然の中で逞しく生きている鳥、植物からエネルギーを頂けます。多くの皆様の参加をお待ちしています。

担 当 畠中暁美 Tel:04-7185-0611

Mail:ak-hatanaka@jcom.home.ne.jp

## 7・8月のカレンダー

7月		8月	
1(土)	無料入館日(市制施行記念日)	1(火)	明治神宮の森で自然探索
8(土)	てがたん、テーマトーク 富士山お中道・奥庭散策撮影会	2(水)	あびこ自然観察隊
11(火)	ヤマユリ鑑賞会	5(土)	役員会
15(土)	北新田探鳥会、鳥絵同好会、鳥凧同好会	6(日)	ホタルの夕べ
17(月・祝)	新入会員オリエンテーション	12(土)	てがたん、テーマトーク
19(水)	万葉集同好会	15(火)	北新田探鳥会
20(木)	大磯のアオバト	16(水)	万葉集同好会
22(土)	室内会	19(土)	鳥絵同好会、鳥凧同好会、照ヶ崎撮影会
23(日)	鳥絵同好会	26(土)	室内会
25(火)	あびこ自然観察隊	27(日)	鳥絵同好会、鳥凧同好会凧揚げ会
		29(火)	オオバン98号発送

7月15日(土)～11月26日(日) 鳥の博物館第78回企画展「鳥・西・鶏・とり—西年はトリで楽しむ—」

7月22日(土)～8月31日(木) 夏休み鳥の科学作品展

8月5日(土)から8月27日(日)までの土日祝日 夏の遊びと研究大集合



## 《鳥絵同好会》

### ●定例会

第345回 7月15日(土)

第346回 7月23日(日)

第347回 8月19日(土)

第348回 8月27日(日)

時間 9:30~12:00

場所 友の会ルーム

標本借用の予約はハガキで開催日前の水曜までに下記の方へお知らせ下さい。

(7・8月当番) 小野史子



## 《鳥凧同好会》

### ◆制作会合

日時 7月15日(土) 13:30~16:00

8月19日(土) 13:30~16:00

場所 友の会ルーム

### ◆その他の行事

#### ●鳥凧同好会凧揚げ会

日時 8月27日(日) 10:00~12:00

予備日 9月3日(日) 10:00~12:00

場所 我孫子市ゆうゆう公園草地広場

### ◆同好会が取り組んでいる課題、テーマ等

- 各会員が制作、改造等を実施中の鳥凧：コウノトリ、タンチョウ、トキ、オオセグロカモメ、チョウゲンボウ等

### ◆鳥凧に興味をお持ちの方へ

・手作りの鳥凧を大空に揚げて操る楽しみにはまった集団です。日本の伝統が息づく和紙と竹ヒゴにこだわり、本物の鳥に近づけた“空を飛ぶ造形物”に挑戦を続けています。興味をお持ちの方は、制作会合(毎月第3土曜日に開催)または同好会凧揚げ会(上記“その他の行事”欄参照)にお立ち寄り下さい。入会された方には、鳥凧づくりの初歩からのお手伝いをいたします。



## 《万葉集同好会》

### ●7月定例会

日時 7月19日(水) 13:30~

場所 友の会ルーム

テーマ ・私の選んだ万葉秀歌

・万葉集の鳥

### ●8月定例会

日時 8月16日(水) 13:30~

場所 友の会ルーム

テーマ ・私の選んだ万葉秀歌

・万葉集の鳥



## 《デジカメ同好会》

### ◆7月の会

#### ●富士山お中道・奥庭 散策・撮影会【再掲】 (デジカメ同好会・みて歩こう会共催)

期日 7月8日(土) (雨天中止)

集合 我孫子駅北口郵便局前 6:00

出発 6:10

帰着 18:00頃予定(奥庭発14:00頃)

案内 富士山5合目からお中道を経て奥庭まで散策します。途中で野鳥やハクサンイチゲ、コケモモなどの高山植物を観察します。奥庭ではルリビタキ、ウソ、キクイタダキ、ホシガラスなどを間近で観察・撮影します。希望者は途中で降りて奥庭の撮影のみも可能です。

交通 中型バス

費用 6,500円程度

持物 観察用具、撮影用具、雨具、防寒具など  
昼食は奥庭で。なお奥庭荘には種々のメニューが揃っています。

定員 27名(申し込みはお早めに)

#### 申込み

デジカメ同好会：野口隆也まで

(携帯番号もご連絡下さい)

Tel:090-5069-5055

Mail:t\_noguchi1212@jcom.home.ne.jp

みて歩こう会：倉重力也まで

(携帯番号もご連絡下さい)

Tel 090-9313-2620

Mail kurashige.r@tbz.t-com.ne.jp

担当 倉重力也、幕田利昭、野口隆也

#### ●室内会

日時 7月22日(土)13:30~16:00

場所 友の会ルーム

内容 撮影会などの作品発表など

### ◆8月の会

#### ●照ヶ崎撮影会

期日 8月19日(土)雨天中止

集合 JR東海道線 大磯駅改札口 8:25

電車の時間は以下を参考にしてください。

我孫子方面

6:18 我孫子→6:54 上野 7:02→8:19 大磯

船橋方面

6:36 船橋→7:09 品川 7:19→8:19 大磯

休日おでかけパス 2,670円が利用できます。

持ち物 撮影・観察用具、雨具、弁当(途中のコンビニで購入可)

**内 容** 大磯の照ヶ崎海岸で海水を飲みに来るアオバトを撮影

**申込み** メールまたは電話にて長妻まで申し込んでください。

携帯番号もご連絡ください。

Mail : tegalake5188@yahoo.co.jp

Tel : 04-7182-2203

**担 当** 長妻輝夫、吉田隆行

### ●室内会

**日 時** 8月26日(土) 13:30~16:00

**場 所** 友の会ルーム

**内 容** 撮影会などの作品発表



### 《みて歩こう会》

●第226回 富士山お中道・奥庭 散策・撮影会  
(デジカメ同好会・みて歩こう会共催)

デジカメ同好会の◆7月の会を参照

●第227回 ヤマユリ鑑賞会

**期 日** 7月11日(火)雨天の場合7月13日(木)

**集 合** 9:30に道の駅しようなん

**コース** 手賀沼ふれあい緑道を約30分歩き自生ヤマユリを鑑賞し、集合場所に戻ります(12:30予定)。

**担 当** 遠藤武松、倉重力也

**連 絡** 倉重力也(090-9313-2620)

●228回 大磯のアオバト

**期 日** 7月20日(木)、

雨天の場合7月24日(月)に延期

**集 合** 8:20 我孫子駅改札内、

または10:15 大磯駅改札

**解 散** 14:30 小田原駅

**コース** 8:24 我孫子 = 8:58 上野 9:10 =

10:22 大磯 10:30 … 10:40 照ヶ崎海岸 11:20

… 11:30 大磯 11:54 = 12:09 小田原 —

ランチタイム(12:10~12:55) — 13:10 小田原

城(自由見学) 14:10 … 14:25 小田原 14:33

= 15:54 上野 16:01 = 16:36 我孫子

(歩行距離 4Km)

**持ち物** 飲み物、雨具

**費用** JR 東日本 休日おでかけパス 2,670円を乗車駅で購入してください。

小田原城天守閣入場料 500円。

**昼 食** 小田原のお好みの店で食事をしていただきます。

**申込み** 不要

**連 絡** 伴野茂樹 Tel: 080-3005-0733

Mail: sbanno@jcom.home.ne.jp

**担 当** 桑嶋光子、脇谷房子、伴野茂樹

**内 容** 大磯照ヶ崎海岸の岩場の水たまりで海水を飲むためにやってくる、アオバトの群れを見学します。その後小田原に移動し好みの店でランチ後、小田原城を見学します。

●第229回 明治神宮の森で自然探索

**期 日** 8月1日(火) 予備日 3日(木)

**集 合** 8:30 我孫子駅改札内

**解 散** 明治神宮出口一原宿側 14:00 頃

**コース** 我孫子駅 8:43 (4・5番線) = 日暮里

(11番線) = 原宿 9:43 (1番線) = 明治神宮

(9:50) …明治神宮散策(12:00 昼食神宮園内

芝生広場) …午後園内散策…原宿(14:00) = 新宿 = 日暮里 = 我孫子

「原宿…明治神宮散策…原宿」歩行距離 約6Km

**持ち物** 飲料水、雨具、帽子、昼食、観察用具など

**費用** 我孫子—原宿往復 1440円)

**連 絡** 染谷迪夫 Tel&Fax: 04-7182-3972

Mail: mxsomeya@nifty.com

**担 当** 染谷迪夫、野口洋子

**内 容** 明治神宮の森は、奇跡の森と言われています。人工の森ですが、自然林に近い森になっています。その辺の秘密を探ります。他に森の植物、鳥、昆虫など生きものをウォッチングします。

●230回 谷津干潟で探鳥会

**期 日** 9月8日(金)

雨天の場合9月12日(火)に延期

**集 合** 8:40 我孫子駅改札内、

または9:35 南船橋駅改札

**解 散** 14:40 南船橋駅

**コース** 8:49 我孫子 = 9:04 新松戸 =

9:32 南船橋 … 9:50~11:30 谷津干潟探鳥会

… 11:30~12:15 昼食 … 谷津干潟観察セン

ター見学 14:15 … 14:40 南船橋駅 =

15:02 新松戸 = 15:20 我孫子駅

(歩行距離 4.5Km)

**持ち物** 飲み物、雨具、あれば双眼鏡

**費用** JR 1,100円、谷津干潟観察センター入館料 370円(65歳以上180円)

**昼 食** 谷津干潟観察センター飲食コーナーで持参したお弁当、あるいはカフェオアシスで軽食を食べていただきます。

**申込み** 不要

**連 絡** 伴野茂樹 Tel: 080-3005-0733

Mail: sbanno@jcom.home.ne.jp

**担 当** 常田三枝子、伴野茂樹

**内 容** 谷津干潟に来る旅鳥のシギ類やチドリ類を観察します。谷津干潟自然観察センターのボランティアガイドさんに干潟を案内していただきます。



### ●企画展

第78回企画展「鳥・酉・鶏・とり—酉年はトリで楽しむ—」

期 間 7月15日(土)～11月26日(日)

酉年にちなみ、ヒトと鳥類との関わりをテーマにした企画展を開催します。「鳥」、「酉」、「鶏」、「とり」の4つのサブテーマを設け、それぞれの視点から、ヒトと鳥類の多様な関係について紹介します。

### ●夏休み鳥の科学作品展

昨年の市内小中学生の夏休みの自由研究の作品の中から、鳥をテーマにした科学作品を館内で展示します。

日 時 7月22日(土)から8月31日(木)まで

場 所 鳥の博物館1階エントランスホール

### ●自然観察会「てがたん」

鳥の博物館周辺でさまざまな季節の生き物を観察する散歩感覚の自然観察会です。毎月第二土曜日に開催しています。

実施日 7月8日(土)

テーマ「歩道で生きるガッツな植物」

実施日 8月12日(土)

テーマ「ヨシ原と沼のトンボ」

時 間 10:00～12:00

集合場所 鳥の博物館玄関

(雨天中止・申し込み不要)

参加費 保険料として100円(高校生以上)

### ●あびこ自然観察隊

「手賀沼のプランクトンと水鳥観察」

身近な材料で作ったプランクトンネットで、手賀沼のプランクトンを観察します。また、小型船に乗って手賀沼で見られる鳥を観察します。

日 時 7月25日(火) 9:00～15:30

8月2日(水) 9:00～15:30

荒天の場合、館内の見学となります。

対象・定員 市内在住の小学生20名(大人及び幼児は定員外、小学3年以下は保護者同伴)

参加費 保険料として50円

申込み 我孫子市手賀沼課(電話で先着受付)

04-7185-1484

### ●テーマトーク

テーマトークは、山階鳥類研究所の研究員の方に最新の調査研究のお話をしていただくイベントです。

実施日 7月8日(土)

テーマ「鳥類標識調査 近年の話題から」

講 師 吉安京子さん

(公財)山階鳥類研究所 保全研究室専門員

実施日 8月12日(土)

テーマ「書籍に見る飼い鳥文化

—大正から昭和にかけて—」

講 師 鶴見みや古さん

(公財)山階鳥類研究所

コレクションディレクター

時 間 13:30～14:15(13:15開場)

場 所 鳥の博物館2階多目的ホール

定 員 先着50名

参加費 無料(ただし入館料がかかります)

### ●夏の遊びと研究大集合！！

鳥の博物館では夏休み期間中に工作・観察イベントを開催します。自由研究のヒントになるようなイベントが盛りだくさんです。

日 時 8月5日(土)から8月27日(日)までの  
土日祝日

13:30から一時間程度

場 所 鳥の博物館

対 象 小学生以上

(小学生未満は保護者同伴で参加可)

参加費 無料(ただし入館料がかかります)

定 員 イベントによって異なります。

申 込 なし

(13:25分開場、材料が無くなり次第終了)

### ●休館日

7月3日(月)、10日(月)、18日(火)、24日(月)、  
31日(月)

8月7日(月)、14日(月)、21日(月)、28日(月)

### ●無料入館日

7月1日(土)我孫子市市制施行記念日